

新聞を読んでみよう！感じてみよう！まとめてみよう！

神戸市立岩岡小学校 校長 青木 稔

教諭 中島 久智

1. はじめに

本校は、神戸市の西の端、西区のさらに端っこに位置し、昔からの地元の人が居住する地区と第二神明道路大久保インターチェンジ付近に開発された新興住宅地が混在する地域である。家族3代や4代で暮らし、暖かい環境で育っている児童もいれば、そうでない児童もいる。家庭環境的にも、学力的にも大きな差がある。学力差の大きな子どもたちに、新聞やニュースに興味を持たせ、そこから視野や知識を広げるためにどのような手立てを取ればいいのか考えながら取り組んだ。学校全体の研修として、国語科の説明文に焦点を当てて、学校、学年でどのように課題設定すると子どもたちが興味・関心を抱いて、学習に向き合い、力を付けることができるのかを考えた。その研修の中で、4年生は、国語「新聞を作ろう」「アップとルーズで伝える」「仕事リーフレットを作ろう」という単元で、写真や映像での伝え方、伝わり方、まとめ方を学習した。新聞のニュースの取り上げ方、どのような写真を使うのかなどを知ることによって、新聞やニュースに興味を持ち、自分の学んだことや考えをまとめられるように計画した。そして、本校は、社会科で淡河川山田川疎水を学習するとともに、総合的な学習で淡河川山田川疎水と岩岡の農業、疎水について学習する。学習し、見学したことの中から、新聞を使って、その伝え方、まとめ方を考える一端となればと考えた。その4年生の児童を対象とした実践を報告する。

2. 取り組みの概要

知る

- 新聞ってどんなものだろう
- ・新聞を読んでみよう
- ・写真を見てみよう・4コマ漫画を読もう

調べる・感じる

- 興味のある新聞記事を読んでみよう A
- 興味のある記事の内容、考えたこと、思ったことを発表しよう B
- 新聞の特徴について知ろう
- ・新聞の仕組み、紙面構成、見出しの工夫
- 国語「新聞を作ろう」「アップとルーズで伝える」

まとめる

- 新聞を作ってみよう国語「新聞を作ろう」社会科 総合的な学習
- 新聞記者さんを招いて、新聞作りのポイントを教えてもらおう
- ・今まで作った新聞を見比べながら、より良い新聞を作る
- 国語「アップとルーズで伝える」「仕事リーフレットを作ろう」

通年

十月・十一月・十二月

A、興味ある新聞記事を読んでみよう

- 朝読書の時間（火・水・金 8:30~8:40）、休み時間、授業中を利用して新聞を読む。
- 廊下の掲示板下の棚に新聞コーナーを設け、新聞をいつでも読めるようにした。

読んでほしい新聞を掲示板に掲示。

- コラムや投書欄、または自分の興味ある記事を読んで自分の意見や感想を話す。

B、興味のある記事の内容、考えたこと、思ったことを発表しよう

- ①朝の会の中にスピーチ活動。
- ②その日の2人の日番がスピーチを担当し、選んだ記事についてスピーチのメモを準備し、スピーチを行う。記事の紹介とそれに対する意見や感想を必ず述べる。
- ③みんなに分かりやすい話し方を工夫させ、声の大きさやはっきり話すことなども気をつけさせる。
- ④自分の発表に対する友達からの意見や感想を募り、考え方の違いや共感できることなどを共有し合う。
- ⑤最後に担任のコメントを付け足し、良かった点を評価するとともに、毎日共通の話題で意見交流しながらスピーチを終え、1日をスタートさせる。

3. 新聞の置き場と整理方法

学年が4クラスあり、4クラスを中心にある学年の棚（掲示板下）に設置し、誰もが手に取って読めるようにした。1週間分の新聞を新聞社別、日付順に並べ、その日だけでなく、さかのぼって読めるようにした。

4. 実践の内容

国語「新聞を作ろう」「アップとルーズで伝える」「仕事リーフレットを作ろう」

国語科学習指導案

平成26年11月26日（水）第2校時
第4学年4組 教室
指導者 中山良平

1. 単元名 2 説明のしかたについて考えよう
「アップとルーズで伝える」
写真と文章で説明しよう
「仕事リーフレットを作ろう」
2. 単元目標
○それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているかを考えながら読むことができる。
○写真と対応した部分に注意して読みとり、「アップ」と「ルーズ」それぞれの機能をまとめることができる。
○書くことと読むこととの中心を明確にして、写真と文章を対応させながら、段落相互の関係に注意してリーフレットを書くことができる。

3. 単元計画（全12時間）

次	時	学習活動
1	1	学習課題を知り、学習計画を立てる。 1. 自分のクラブの魅力がよく分かるように、三年生に紹介する文章を考える。 2. 文章だけの紹介で上手く伝えられるか話し合う。 3. 「仕事リーフレットを作ろう」を読み、リーフレットを使った紹介とはどんな方法か調べる。 4. 次時の学習内容を知る。
	2	「アップとルーズで伝える」を読み、おおまかな内容を把握する。 1. 「アップとルーズで伝える」を読み、感想を書き、班で交流する。 2. アップとルーズとは何かを宿表する。 3. 形式段落に分け、教材のおおまかな構造をつかむ。
	3	調べた言葉を使って短文を作り、言葉の理解を深める。 1. 本時のめあてを知る。 調べた言葉を使って、短い文を書こう。 2. 意味の分からない言葉を調べる。 3. 短文の作り方を知り、短文を作る。 4. 作った短文を発表する。

2	1	一、二段落を読み、写真にキャプションをつける活動を通して、段落の内容を読み取ることができる。 1. 本時のめあてを知る。 一、二段落を読み、写真にキャプションをつけよう。 2. A、Bの写真ほどの段落を表している写真か、自分の考えをハットに書き、発表する。 3. キャプションという言葉の意味を知る。 4. 二枚の写真にキャプションをつける。 5. キャプションを発表し、交流する。
	2	一、二段落と三段落との関係を考えることができる。 1. 本時のめあてを知る。 三段落目の働きを考えよう。 2. 対応と対比について知る。 3. 段落構成を考える。 4. 段落構成を確認し、次時の内容を知る。
	3 本時	写真と対応しながら四、五段落を読み、写真にキャプションをつける活動を通して、アップとルーズの違いを読み取ることができる。 1. 本時のめあてを知る。 アップとルーズの違いを読み取ろう。 2. アップとルーズで伝えられることと伝えられないことを読み取る。 3. 写真にキャプションをつける。 4. キャプションを発表し、交流する。 5. アップとルーズのクラブの写真から効果を確認する。
	4	四、五段落と六段落との関係を考えることができる。 1. 本時のめあてを知る。 六段落目の働きを考えよう。 2. 第2時の問いを確認する。 3. 「このように」の指示する箇所を考える。 4. 段落構成を考える。 5. 次時の学習内容を知る。
	5	七、八段落を読み、筆者の考えや工夫を読み取ることができる。 1. 本時のめあてを知る。 筆者の伝えたいことを考えよう。 2. 七段落の意味を考える。 3. 筆者の考えを読み取る。 4. 全体の段落構成を考える。 5. 次時の学習内容を知る。

3	1	「仕事リーフレットを作ろう」を読み、リーフレット作りのポイントを整理することができる。 1. 本時のめあてを知る。 リーフレットを作るポイントを考えよう。 2. リーフレットで伝える内容を確認する。 3. リーフレットのレイアウトを知る。 4. リーフレット作りのポイントを整理する。
	2	リーフレットを作成するための構想メモを書くことができる。 1. 本時のめあてを知る。 リーフレットを書くための構想メモを書こう。 2. 1ページ目の構想メモを書き、思わず読みたくなるようなタイトルをつける。 3. 様子を伝えるために必要な事柄を整理し、2ページ目のメモを書く。 4. 気持ちを伝えるために必要な事柄を整理し、3ページ目のメモを書く。 5. 二年生へのメッセージを入れて、4ページ目の構想メモを書く。
	3	アップとルーズの効果を考えて写真を選び、キャプションをつけることができる。 1. 本時のめあてを知る。 クラブ活動の写真を選んで、キャプションをつけよう。 2. 2ページ目に合う写真を選ぶ。 3. 3ページ目に合う写真を選ぶ。 4. 選んだ写真にキャプションをつける。
	4	写真や活動を説明する文章を書くことができる。 1. 本時のめあてを知る。 リーフレットを完成させよう。 2. 2ページの写真に合わせて文章を書く。 3. 3ページ目の写真に合わせて文章を書く。 4. 隣の人とリーフレットを読みあい、推敲する。
	5	お互いのリーフレットを見合い、感想を交流することができる。 1. 本時のめあてを知る。完成したリーフレットを紹介し合う。 2. 相互評価の観点を知る。 3. 小グループで紹介し合う。 4. 学習を振り返り、感想をまとめる。

4. 単元について
- ①子どもたちがこの教材で困ったり、つまずいたりする所
 - ・対比的に説明されているとどんな点がよいか気づくことができない。
 - ・それぞれの段落が全体の中で、どんな役割を果たしているか読み取ることができない。
 - ・段落のまとまりごとに書き分けることができない。
 - ②子どもたちが学習内容を把握する指導の工夫
 - ・対比されている文章に線を色分けして引かせる。
 - ・各時間の最終段階で相互の関係図を板書して、まとめさせていく。
 - ・教師が作成したクラブリーフレットを使って、どこで段落分けをすれば読みやすい文章になるか考えさせる。
 - ③個別の指導が必要な児童への手立て
 - ・指示が理解できなかったり、文章がすぐに書けない児童には、個別に支援する。
 - ・班での話し合い活動を入れ、発言することに自信を持たせる。
 - ・キャプションなどの難しい言葉には、新聞の写真などの具体物を提示し、イメージを持たせる。
5. 単元の評価基準
- 「関心・意欲・態度」
- ・写真と文章を対応させて、説明的文章に興味を持って読もうとしている。
 - ・読み取ったことを生かしてリーフレットを作ろうとしている。
- 「読む」
- ・文章全体の構成と段落との関係を理解している。
 - ・写真と本文の対応関係を理解している。
 - ・対比・類似・補足・例示などの表現内容と内容の関係のちがいを理解している。
- 「書く」
- ・内容のまとまりごとに書き分けている。
 - ・書くことの内容を明確にし、事例を挙げ、文章に対応した写真を用いて書いている。
- 「言語」
- ・典型的な接続表現の意味を理解している。
 - ・句読点を適切に打ち、必要な箇所は行を改めて書いている。

社会「トピックコーナー 淡河川・山田川疏水」・総合的な学習「私たちの郷土・岩岡」

○展開（全 25 時間）

第 1 次

（総合）「岩岡」について調べよう⑩

- ・調べるポイントとは？
- ・何で調べようかな？
- ・調べよう（聞きに行こう）
- ・どんな発表の仕方にしようかな？
- ・発表会の練習をしよう

第 2 次

（総合）（社会）学習したことを振り返ろう⑧

- ・疎水をたどっていこう
- ・新聞をつくらう
- ・感動したことや人々の願いを盛り込もう
- ・岩岡のまちって、どんなまち？
- ・自分の生活を振り返ろう
- ・ふるさと岩岡を誇れるために
自分にできることは・・・



第3次

○新聞記者さんを招いて、新聞作りのポイントを教えてもらおう。

・今まで作った新聞を見比べながら、より良い新聞を作る。

記者派遣していただいたことで、子どもたちに新聞づくりで大切にしないといけないことや課題がはっきりとした。

・読む人のこと（誰を対象にするのか）を考えて作っていない新聞が多かった。

・興味を引くような見出しや構成ができていなかった。

→どんな人が読むのかを考えることで、写真説明、記事内容などがはっきりする。

→見出しや構成を工夫すると、興味を持って読んでもらえる。内容が伝わりやすい。などがはっきりした。

○国語「仕事リーフレットを作ろう」

新聞づくりの課題を踏まえて、来年度からクラブ活動が始まる3年生に向けて、クラブ紹介をするクラブリーフレット作りをした。写真と記事の構成、見出しの工夫などに気をつけて、リーフレットを作った。記者派遣事業で新聞記者からたくさん教えていただいたことで、リーフレットは、学習してきたことをまとめた「疏水新聞」より、格段にまとめ方や見出しの付け方、写真の使い方などが上手になり、分かりやすいものになった。

5. 実践の感想と今後の課題

子どもたちは、新聞やニュースに関心を持って、もっと知りたいという学習意欲、知的好奇心は向上した。そして、新聞を作ることで、新聞はどのように考えて作られているのか、なぜその写真を選ぶのかがよく分かった。ただし、私たち教師自身が、NIEをどのように進めれば、子どもたちの好奇心などが引き上げられるのか分からず、試行錯誤しながら、迷いながらしていたのが現実である。もっと興味を引くように「さらに詳しく知りたい。調べてみよう」というようなどころまで引き上げられなかったことを悔やんでいる。

来年度は、もっと興味・関心を引き出せるようにしていきたいと考えている。新聞をもっと手に取って、読んで考えて、みんなに伝えるだけでなく、国語で学習する「新聞を読もう」を1年間通して行ったり、社会科で学習すること（農業、漁業、工業など）に関連する記事を切り取り、まとめて発表したりして、さらにいろいろなニュースを「もっと知りたい。考えたい」という知識欲を高めていきたいと考えている。

